



淀江の宿 今津田中家 瓦版

第16号

2024.07 発行

自転車で走る「水の道周遊コース」

今津田中家のオーナー田中洋子は、今年9月に開催される米子日吉津商工会の「サイクルカーニバル」の推進委員となり、初心者向けの新コース「水の道周遊コース（約38km）」の企画実施に関わらせていただいております。

「水の道周遊コース」は、日野川（ひのがわ）の土手へ大山（だいせん）の麓（植田正治写真美術館）へ湧水地（本宮の泉）へ日本海（淀江漁港）を巡るサイクリングコースで、途中クイズを解いたり、地の美味しいものを食べたりして楽しみながら、大山流域の水の循環を肌で感じることが出来ます。



植田正治写真美術館から望む大山

鳥取県西部を流れ、
日本海に注ぐ日野川



ユーラシア大陸に繋がる淀江港



1日3万トンの湧水量 本宮の泉



サイクルカーニバルとは

1992年から続く米子日吉津商工会主催のサイクルカーニバルは、旧淀江町商工会青年部が中心となり、当時普及し始めた「サイクリング」を通じて、環境省認定の湧水地や日本最古級の壁画、日本最大の弥生時代集落遺跡などこの地の知られざるスポットを、美味しいモノや楽しいコトを織り交ぜながら、多くの方に巡っていただくことを目的とした「手づくり」の地域活性化事業です。2007年の商工会合併（淀江・伯仙・日吉津）後も継続して開催され、昨年、30回記念大会を迎えました。山陰における「自転車の聖地」を目指すと共に、アットホームなおもてなしで地域の良さをお届けし続けています。

今年は9月8日（日）に実施される予定で、定番の健脚コースに加え、2019年以来5年ぶりにシートのコース（水の道周遊コース）が、初心者向けのコースとして復活します。

また、ゴール地である海浜運動公園では、西部商工会管内等の事業所が出店するマルシェが開催されます。昨年は5000人以上の方が来場され、賑わいました。

サイクリングをされている方は「健脚コース」に、始めたばかりの方は「水の道周遊コース」にご参加ください。電動自転車でも参加可能です。

自転車に乗れない方も「マルシェ」には、ぜひお越しください。

私達は、鳥取うみかみロードの
ナショナルサイクルルート指定を
目指しています！

大山時間

米子日吉津商工会サイクルフェス
CYCLE CARNIVAL 2024
2024.9.8
大和公園運動広場
〒689-3424 鳥取県米子市淀江町中間1154-1
受付：当日午前7:00～7:45（予定）

水の道周遊38kmコース
受付7:00～7:45受付／8:30スタート予定
■ 参加費 5,000円、先着200名
■ 水筒持ち込みの希望者は当日受付でペットボトルを貸与します
■ 雨降時は雨天中止の可能性があります

健脚70kmコース
受付7:00～7:45受付／8:30スタート予定
■ 参加費 7,000円、先着300名
■ 雨降時は雨天中止の可能性があります
■ 雨降時は雨天中止の可能性があります

参加のお申し込みはスポーツエントリーでのインターネット受付。
もしくは電話受付（0570-039-840）にてお申し込みください。
※参加費は当日受付で現金で支払ってください。当日は現金でのみ受付となります。

申込方法
2024年 8月20日（火）締切

Facebook Twitter Instagram

FacebookやTwitter、Instagramで最新情報をチェック！

参加資格

- 開催日 9月8日（日）開催 ※雨天決行
- 申込期間 8月20日（火）まで
- 開催場所 鳥取県米子市淀江町中間 大和公園運動広場
- 定員 水の道周遊コース…2000人
健脚コース（約70km）…3000人
※先着順（定員になり次第締切）
- 参加資格 ○水の道周遊コース↓小学生以上の健康な方。（小学生は保護者同伴必須）
○健脚コース↓中学生以上の健康な方。



News Topics

ロードバイク始めました！ お仲間募集中！



大阪在住の頃は移動によくママチャリを使っていたママチャリ歴50年の洋子が、初めてスポーツタイプの電動自転車（eバイク）に乗ったのは、2020年、淀江にUターンした年の秋。鳥取県西部の商工会が結束して鳥取県西部地域の魅力を地域内外に発信するプロジェクト「大山時間」のサイクルガイド養成講座に参加したときのことで、以降、坂道も楽々のeバイクを活用するようになりました。

2022年12月末にロードバイクを購入したのですが、ギアの使い方に慣れないまま、玄関で埃をかぶり、eバイクばかりを利用していました。今年の4月20日、星明彦氏（2022年6月に会った当時は観光庁観光資源課長・観光庁本庁観光政策調整官）がこちらに来られる前に、Ricco Cycleの金澤純さんにギアのレクチャーを受け、ロードバイクデビューに備えました。

4月20日は松江で、観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」に係る勉強会が開催され、その翌日、星さんがこちらに来られて、ロードバイク組5人のeバイク組4人で、天の真名井宿のeバイク組4人で、走りまわした。途中の坂道では、星さんが伴走して背中を押してくださる、なんとか森の国までたどり着くことができた。この経験で少し自信が付き、今までeバイクで走っていたサイクルカーニバルの水の道周遊コースをロードバイクで試走しました。

6月2日には商工会の浅田正人さんにお誘いいただき、鳥取県サイクリング協会の月例会に参加。境港、美保関、べた踏み坂を上るショートコース（距離約50km、獲得標高749m）を皆様にギアの使い方やこぎ方を教えてもらったり励ましてもらったりして走り切ることが出来ました。現在、こんな初心者の方の洋子と走ってくださるお仲間募集中です。

東大水研究チーム再訪

6月6日～9日、東大の水研究チームが今津田中家に滞在してくださいました。2022年7月、2023年5月、10月に引き続き、4回目の滞在で、今回は以下の5名が滞在されました。

徳永朋祥（とくながともちか）教授（東京大学大学院新領域創成科学研究科長、地球・資源システム工学、資源開発工学）、井上大悟（いのうえだいていご）さん（淀江の湧水について卒論を書き、今年4月から大学院生・特任研究員の蔡其珊（Chih San Tsai）さん・博士課程の田嶋智（たじまさとし）さん・大阪公立大学准教授の伊藤真加（いとうまか）さん

今回は、水路網のマッピング調査（山根正敬さんガイド）、本宮・高井谷・稲吉で水の利用や水管理に関するヒアリング調査（森田豊充さんコーディネート）の他、若いメンバーとの交流BBQや井上さんの卒論報告会などを実施。宿での地元食材を使った食事の他、人気店「ライメン悟空」や「真名井ばあちゃん」のせせらぎレストラン、「大正蔵」のBar営業などにお連れし、最終日の夜は「うみねこ」のジビエ料理「しし鍋」を宿で提供、どれも「とても美味しい」と喜んでいただきました。

今回、井上さんの卒論を宿に贈呈していただきました。今後、井上さんと地元の方との交流などもより推し進めていきたいと考えています。



8/3

シンポジウム「プラネタリーヘルスとローカル資本」

山陰の価値を再発掘、世界最先端のプラネタリーヘルス（人と地球の健康）

日 時：2024年8月3日（土）13:30～16:30 会 場：米子淀江文化センター（さなめホール）

主 催：（公財）日本ヘルスケア協会・プラネタリーヘルスイニシアティブ

後 援：鳥取県・米子市・境港市・江府町・経済同友会鳥取西部地区 参加費：会場参加 1000 円

第1部

基調講演「プラネタリーヘルスと世界における山陰の役割～日本の視座が世界最先端となる自然共生社会」講師：桐村 里紗（公財日本ヘルスケア協会 PHI 代表・医師）

第2部

パネルディスカッション

「ネイチャーポジティブ視点にたった医食農連携と観光の可能性」

ファシリテーター

佐藤 洋一郎（京都府立大学客員教授 / ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長）地球環境と人の営みに関する碩学

桐村 里紗（PHI 代表理事）鳥取県江府町と連携協定、拠点化に取り組む江府町民

田中 善（医療法人仁善会田中クリニック院長・鳥取大学医学部出身）鳥取大学医学部出身で食事療法や腸内細菌を通した全人的治療を提供する医師

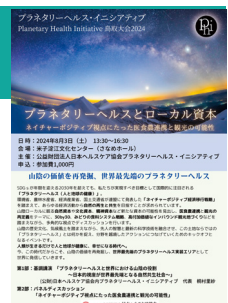
塚野 真樹（株式会社 SC 鳥取 / ガイナーレ鳥取 代表取締役社長）地域に密着したサッカーを通して地域活性化を牽引

星 明彦（一般社団法人 Expe）観光庁・高付加価値インバウンド向け観光地づくりを推進され、山陰の価値を評価

横山 和成（立正大学 地球環境科学部環境システム学科 客員研究員 / 株式会社 DGC テクノロジーシニアリサーチャー）

パネリスト

微生物の多様性から土壌・農地の豊かさを評価する第一人者



田植え・大豆植えをしました！

今年も、頼れるありがたい近所さん、山中さんご夫妻の全力の下、田植えを行いました。まずは5月2日に「いでさらえ」(近くの妻木川(むきがわ)の水路の清掃)を実施。水路のゴミをさらう力仕事です。山中さんにリードしていただき、名古屋から「よいとまかせ」に参加するために帰っていた弟家族や近所の若者にも協力してもらい、水がスムーズに通るようになりました。山中さんが草刈り、奥様が山中家の機械を使って耕運、田んぼに水を入れ、19日にきぬむすめ・もち米の機械植えを実施。22日には山中さんご指導の下、近所の若者が、もち米の手植えにチャレンジしました。大豆植えは、雨天で延期となり、6月6日に黒豆、それ以降に、青大豆、白大豆、小豆を植えました。



手植え



いでさらえ



大豆植え



機械植え

日替わり店長カフェ紹介

7/26(金)

11:30 - 14:30

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米にすまいるびとsanin 仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶 & 甘酒ボウル。ドリンクメニューとして、ノンカフェインのオリジナル野草茶の他に、梅酵素茶と生姜ゆず茶もご用意しています。いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験ついています♡

- おむすび&お味噌汁セット
ミニスイーツ付き
- 甘酒ボウル&野草茶セット
- ドリンクメニューはいずれも

¥1,000
¥1,300
¥1,000
¥500



7/6(土)・7/16(火)

14:00 - 17:00

淀江の宿今津田中家

数量限定



14時～17時まで、自家製黒豆や米などを使ったスイーツ&ドリンク、珈琲・ラテなどを提供します。

- ラテ (HOT・ICE) ¥550
- 黒豆スイーツ (豆花等) ¥220～
- 各種ドリンク (紅茶・ハーブティー等) ¥440～

「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQ は4名～12名で個別のご予約を承ります。詳細はWEBサイト等でご確認ください。



お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024 年度会員募集

年会費

継続会員 2,000 円

新規会員 3,000 円

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いいたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版 13 号～24 号 新規会員：瓦版 1 号～24 号
- お米 1 升 (約 1.5 kg) プレゼント (きぬむすめ or もち米)
 - ・新米ご希望の方は 2024 年 11 月以降
 - ・お米は基本当宿にてお渡し (郵送料別途)
 - ・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券 1,000 円分プレゼント
- 毎月 1 回 各種 10% 割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- 瓦版 2 周年イベント (2025 年 3 月開催予定) 無料参加！



お申込みフォーム



連載「淀江プロジェクト」物語 [第十五話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第15話：デンマーク人ヤコブの淀江体験（もりさと&ゆっぺい）



むきばんだ遺跡で銅鐸作り



今津田中家にて食事交流会



コペンハーゲン郊外のヤコブ邸

日本好きのヤコブさんは、日本の歴史・武士道などに興味があり、大学院卒業後は高校の先生のなりたて、い・・・という希望があり、車中では、日本やデンマークの歴史や現代の働き方や暮らし方、エネルギー政策についてなど、話が弾んだ。

まずは天気の良いうちに、鳥取県中部の「三徳山三佛寺」へ向かい、日本一危険な国宝と称されている「投入堂」の参拝登山に二人でチャレンジ。その後、淀江プロジェクトにメインで関わってくれている翔太郎さんが運営する「喫茶ミラクル（鳥取市浜村）」や鳥取砂丘・砂の美術館などに立ち寄り、淀江の実家へと向かった。

そしてその一年後の2019年6月、デンマークでお世話になったヤコブさんが日本にやって来た。彼にとつては2度目の来日で、数日間、京都や大阪に滞在して京阪神を巡った後、洋子と大阪から車で淀江へ向かい、洋子お得意の弾丸話込みツアーに連れ回すこととなった。

デンマークでは、その当時、デンマーク人と結婚されてコペンハーゲン大学で研究職に就いておられた海野歩さんにコーディネートしていただき、日本好きのコペンハーゲン大学の大学院生ヤコブ（Jacob Jørgensen）さんの郊外のご自宅を訪問し、とても貴重な「ヒュッゲ（Hygge）」体験をさせてもらった。

時は遡り、淀江プロジェクトをまだ始める前の2018年7月、洋子は会社のスタッフと一緒に、ノルウェー→スウェーデン→デンマーク→フィンランドの北欧4か国を駆け足で旅した。その当時新しいライフスタイルとして欧米でデンマークの「ヒュッゲ（Hygge）」が注目されていることを知り、北欧の暮らしや時間の使い方に改めて興味を持った洋子は、デンマークに行つて「ヒュッゲ（Hygge）」を体験することを第一目的に7日間の行程を組んだ。

デンマーク人ヤコブとの出逢いと来日

住宅地を起点にした体験と交流

2日目は、近隣散策。日吉神社（天の真名井）むきばんだ遺跡（銅鐸作り・火おこし）→足立美術館を一緒に回った。むきばんだ遺跡のボランティアガイドさんに「外国人の若い男の子と二人でいるんな所に行けて羨ましいです！」と言われて、貴重な体験をさせてもらっていることに改めて気づいた。

夕方からは、淀江プロジェクトに関わってくれている、もりさと（森田 悟史）さんとゆっぺい（河津 優平）さんが他の仲間を呼んでくれて、二人が釣った魚やヤコブさんと一緒に収穫してきた地元野菜を使って皆でワイワイクッキング。交流お食事会を行った。おにぎりくん（小橋 俊哉）さんが握ってくれた塩むすびをヤコブさんはとても気に入って、その日の夜は笑い声が響き、遅くまで盛り上がった。地元の手と交流してもらえたことをとても有意義に感じ、ゲストハウスではこんな交流をやっていききたい・・・と未来を描けた瞬間だった。

3日目は、ヤコブさん一人でJRレイルパスを使った淀江→出雲大社→松江城→淀江の旅。4日目は、メイチちゃん農場に寄ってから淀江を車で出発し、途中、植田正治写真美術館→大山（麓）に立ち寄り、大阪に戻った。その夜は、洋子の事務所まで、ヤコブさんを囲んでデンマーク探究を行い、弾丸ツアーは終了した。とんかつやラーメンが大好きで、刺身は苦手、温泉を愛し、日本の歴史や精神性に興味を持ってくれているヤコブさんに泊まってもらったの田中家を起点とした体験と交流は、洋子が若い頃、ロンドンにホームステイして、奥さんや娘さんに、同じくホームステイしていた南イエメンのアブドゥルくんも一緒にいるんな所に連れて行ってもらったこと、奥さんにキヤリーを借りて船に乗って大陸の国々を旅してとても有意義な時間を通して、今度自分があるこの建物を中心にして、今度は自分がそんな手助けをしたい・・・そう強く思える出来事となった。

作者・田中 洋子

（株）ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第15話」



第十六話に続く



淀江の宿
今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家

〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1

TEL: 0859-30-3889

www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント

お店のポイントが貯まる！

